

6月 12-18日

## 歴代第二 32-33章

### 103番の歌と祈り

開会の言葉（1分）竹林 直毅

### 神の言葉の宝

「大変な時に仲間を力づける」（10分）水晶 安章

宝石を探し出す（10分）長谷川 貴史

代二 33:15, 16 エホバの家から外国の神々と偶像を取り除き、エホバの家の山とエルサレムに作った祭壇を全て取り除いて、都市の外に捨てた。16 エホバの祭壇を復旧させ、そこで共食の犠牲と感謝の犠牲を捧げ始めた。そしてイスラエルの神エホバに仕えるようユダに命じた。

マナセの例からどんなことを学べるか。（塔研 21.10 4 ページ 11-12 節）11 やがて、エホバはマナセの祈りに答えました。祈りに表れていた心の変化を見て取り、その懇願に心を動かされ、マナセを王位に復帰させました。マナセは、この機会を十分に生かして、自分が本当に悔い改めていることを示しました。アハブとは異なり、自分の行いを変化させたのです。間違った崇拜を取り除くため行動し、真の崇拜を広めました。（歴代第二 33:15, 16 を読む。）そうするには勇気や信仰が必要だったに違いありません。悔い改める前のマナセは、何十年にもわたって家族や高貴な人たちや国民に悪い影響を与えてきたからです。しかし晩年には、そうした悪い影響を取り除こうと努力しました。幼い孫のヨシヤに良い影響を与えたようです。ヨシヤは、後にとても良い王になりました。（王二 22:1, 2）12 マナセの例から何を学べますか。マナセは謙遜になつただけではありませんでした。憐れみを求めて祈りました。生き方や行動を変えました。自分が与えた悪い影響を取り除くために一生懸命に努力しました。そして、心を込めてエホバを崇拜し、そうするようほかの人たちを助けました。マナセの例は、非常に大きな罪を犯した人にも希望を与えるものです。エホバ神が「善い方で、快く許してください」とことをはっきり示しています。（詩 86:5 エホバ、あなたは善い方で、快く許してください。あなたに呼び掛ける人全てに、搖るぎない愛を豊かに示してください）エホバは、本当に悔い改めている人のことを許してくださいのです。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。（ほかにどんな宝石を見つけたか。）あれほどエホバと良い関係にあったヒゼキヤでさえ、（32:25-26）潜在していた傲慢というウィルスに心を腐敗され、まるで帯状疱疹が発症するように苦痛を経験しなければならなかつた。それで私たちも神の恵みを失わないために、今謙遜さというワクチンを接種して、傲慢さという邪悪な特質の活動を完全に止めるようにしたいと思う。

聖書朗読（4分）[代二 32:1-15（教励 第11課）](#) 田中 克彦 11

## 野外奉仕に励む

最初の話し合い（4分）「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子の裏表紙を使って話し合い、聖書レッスンを勧める。（[教励 第6課](#)）金刺 由里子 6 平山 優子

再訪問（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。宣教ツールボックスの出版物を提供する。（[教励 第17課](#)）柴田 まり子 17 安斎 麻理

聖書研究（5分）[暮 レッスン 10 ポイント5（教励 第19課）](#) 伊藤 本子 19 星 佳代

## クリスチャンとして生活する

### 36番の歌

「[背教から自分を守ってください](#)」（10分）討議。[動画](#)を視聴する。大谷 正

会衆の必要（5分）星 延宏

会衆の聖書研究（30分）[暮 レッスン 48 ポイント1-4](#) 吉田 忍 朗読：河野 正和

閉会の言葉（3分）浮田 蒼

### 90番の歌と祈り

△（[代二 32:1-33:25](#)）ヒゼキヤが忠実にこうしたことを行った後、アッシリアのセナケリブ王がやって来て、ユダに侵入した。セナケリブは防備された町々を突撃して攻め取ろうとして、包囲した。<sup>2</sup>ヒゼキヤは、セナケリブが来てエルサレムに戦いを仕掛けようともくろんでいるのを知り、<sup>3</sup>高官や戦士たちに相談して、都市の外にある泉の水を止めることに決めた。皆、王に協力した。<sup>4</sup>多くの民が集まり、「アッシリアの王たちが来て、豊富な水を見つけることがあってはいけない」と言って、全ての泉をふさぎ、土地を流れる水を止めた。<sup>5</sup>さらにヒゼキヤは強い意志を持って、崩れた城壁を全部建て直し、その上に塔を建てた。そして外側にもう1つ城壁を造った。「ダビデの町」の塹\*も修復し、武器\*と盾をたくさん作った。<sup>6</sup>それから、民をまとめる軍隊長たちを任命し、都市の門の広場に集め、こう言って励ました。<sup>7</sup>「勇気を出し、強くあります。アッシリアの王や王と共にいる大軍のことで恐れたりおびえたりしてはなりません。彼と共にいる者よりも、私たちと共にいる者の方が多いからです。<sup>8</sup>彼のもとにあるのは人間の力ですが、私たちには、私たちを助け、私たちのために戦ってくださるエホバ神がいます」。民はユダのヒゼキヤ王の言葉に力づけられた。<sup>9</sup>この後のこと、アッシリアのセナケリブ王は全帝国軍\*と共にラキシュにいた。セナケリブは家来たちをエルサレムに遣わし、ユダのヒゼキヤ王とエルサレムにいたユダの人全てにこう伝えさせた。<sup>10</sup>「アッシリアのセナケリブ王はこう言っている

神の言葉の宝

## 大変な時に仲間を力づける

セナケリブはユダに侵入し、エルサレムを攻撃しようとした。[\(代二 32:1。洞-1 73 ページ 2 節\)](#)

ヒゼキヤはエルサレムを守るためにできることを行った。[\(代二 32:2-5。塔 13 11/15 19 ページ 12 節\)](#)

ヒゼキヤの言葉は民を力づけた。[\(代二 32:6-8。塔 13 11/15 19 ページ 13 節\)](#)



考えてみよう：「大変な時にどのように仲間の助けになれるだろうか」。

[^ \(代二 32:1\)](#) ヒゼキヤが忠実にこうしたことを行った後、アッシャリアのセナケリブ王がやって来て、ユダに侵入した。セナケリブは防備された町々を突撃して攻め取ろうとして、包囲した。

[^ \(代二 32:2-5\)](#) ヒゼキヤは、セナケリブが来てエルサレムに戦いを仕掛けようともくろんでいるのを知り、<sup>3</sup> 高官や戦士たちに相談して、都市の外にある泉の水を止めることに決めた。皆、王に協力した。<sup>4</sup> 多くの民が集まり、「アッシャリアの王たちが来て、豊富な水を見つけることがあってはいけない」と言って、全ての泉をふさぎ、土地を流れる水を止めた。<sup>5</sup> さらにヒゼキヤは強い意志を持って、崩れた城壁を全部建て直し、その上に塔を建てた。そして外側にもう1つ城壁を造った。「ダビデの町」の塹<sup>\*</sup>も修復し、武器<sup>\*</sup>と盾をたくさん作った。



クリスチャンとして生活する

## 背教から自分を守ってください

サタンとその影響を受けている人たちには、**真実**とうそを混ぜ合わせることによって**私たちの信仰**を弱めようとしています。 (コリニ 11:3) しかし、エバが蛇のする賢さによって惑わされたように、皆さんも何かのことで考え方が腐敗させられて、キリストに示すべき誠実さや貞潔さ(\*清さ)を保てなくなるのではないかと心配しています) かつてアッシリア人は、**不正確な情報やあからさまなうそ**を用いてエホバの民の意気をくじこうとしました。 (代ニ 32:10-15) 「アッシリアのセナケリブ王はこう言っている。『エルサレムは包囲されているというのに、いったい何を信頼してそのままとどまっているのか。 11 ヒゼキヤは、「エホバ神が私たちをアッシリアの王の手から救い出してくださる」と言っているが、おまえたちを言いくるめ、飢えと渴きで死なせようとしているのだ。 12 やつはおまえたちの神の高い場所と祭壇を取り除いてしまい、「ただ1つの祭壇の前でひれ伏し、そこで犠牲を焼いて煙にすべきだ」とユダとエルサレムに言ったではないか。 13 おまえたちは、私と父祖たちがほかの国々にしたことを知らないのか。それらの国の神々は、自分の国を私の手から救うことができたか。 14 私の父祖たちが滅ぼし尽くした国の神々の中に、民を私の手から救えた神はいないではないか。それなのに、おまえたちの神は私の手からおまえたちを救えるというのか。 15 ヒゼキヤにだまされるな。言いくるめられるな。彼を信用してはならない。どの国民や王国の神も私や父祖たちの手から民を救えなかつたのだから、おまえたちの神が私の手からおまえたちを救えるわけがない!』」) 現代でも、**背教者たちは同じような手口**を使います。私たちは、**背教的な教え**に対してどのように反応すべきでしょうか。それらを**毒と見な**しましょう。決して読んだり、返信したり、他の人に伝えたりしてはなりません。エホバや組織に**疑いを抱かせる**ように作られている情報を素早く**見抜き**、**退けましょう**。 (ユダ 3, 4 愛する皆さん、私は、私たちに共通の救いについて書き送りたいと強く願っていました。しかし、聖なる人たちに一度限り伝えられた信仰のために**真剣に戦**うよう、皆さんに勧める必要があると分かりました。 4 なぜなら、皆さんの中に、聖書によつてずっと前から有罪とされていた人たちが紛れ込んでいるからです。その人たちは**神への敬意がなく**、私たちの**神の惜しみない**(\*過分の)親切に付け込んで**恥知らず**な行い(ギ語アセルゲイア)をし、私たちの唯一の所有者(\*主人)である**主イエス・キリスト**に**不忠実**です。)

「信仰のために真剣に戦いましょう！」 (抜粋) の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. インターネット上のコメントを読んだり書き込みをしたりする場合、注意が必要なのはなぜですか。 **誠実なエホバの証人のふり**をしている**背教者のサイト**である可能性がある。背教者でなくとも**否定的で批判的な話**によって**影響を受けたり**、**信仰面で励まされず**、**後味の悪い経験**をしたり、**誰かをつまずかせる危険**もある。
2. ローマ 16 章 17 節のアドバイスにどのように従えますか。 **背教者や信仰に消極的なサイト**に書き込みなど決してせず、全くかかわらない。組織に対する消極的な考えから**鬱憤**を晴らそうとしたり、そうした人々を助けようとしても**書き込みなど決してしない**。

(背教は毒のようなもの。毒に侵されないための一番良い方法は、それを直ぐに毒だと見分けて避けること。

信仰を損なうような教えにも同じ原則が当てはまる。簡単ではない。気づかずに背教者と関わることがある。兄弟姉妹から、インターネットで見たものに悩まされているという内容の手紙を受け取ることがある。問題は背教者から出たものだと分かっていないこと。気づきにくいのは背教者は「これは背教者のサイト」とは書かないため。たいてい質問や悩みのある誠実なエホバの証人のふりをしている。また背教者でなくても否定的で批判的な話によって背教者のように問題を引き起こすことがある。兄弟たち、警戒が必要。真剣に考えましょう。エホバの証人だと言っている人たちがネットに書き込んでいるものを好奇心から見てしまったとする。会ったことがないでの、本当にエホバの証人かどうかは分からぬ。誰かがこう書き込んだとする。「先月のブロードキャスティングどう思った？あれで、励まされるのかなー？」ものの塔の記事を書いている兄弟たちは世の中の現実を分かっていると思う？普通に生活する大変さを分かっているかなー？」そこに他の人たちが否定的なコメントを書き込んでいく。その人が背教者なのか、信仰の弱くなっている兄弟姉妹なのは分からぬ。それは関係ない。どんな気持ちになるか、です。書き込みを見た後、励まされ、もっと奉仕しようと思うか？あなたの愛する組織をエホバが用いているという確信が強まり、その組織の中に居られて嬉しい、光栄だという気持ちになるか？それとも後味が悪くて、落ち着かず、がっかりするか？でもその人たちを助けるために自分も何か書き込む必要があると思うかも知れない。関わってはいけない。背教者でないとしても、励まし合う関係にはならない。書き込みを続けて誰かを助けようとするのは、毒を飲んでいる人の手を支えてあげながら、自分も一緒に飲んであげるようなもの。

ローマ 16:17 に載せられているアドバイスに従う必要がある。こうした書き込みのサイトのことを考えながら、ローマ 16:17 を読む。そのサイトにはいろいろと否定的なコメントが飛び交っていて、誰が書いているかは、貴方は分からぬ。（読む「兄弟たち、皆さんに勧めます。分裂を引き起こし、過ちのもととなる人たちに気を付けてください。皆さんのがんばった教えに逆らう人たちを避けるのです。」）そのサイトはどうか？分裂を引き起こすか？はい。過ちの元になるか？なりえる。がんばった教えに逆らっているか？答える必要もない。そのつもりがあっても無くても、明らかに信仰を弱めさせるもの。どうすべきかパウロは 17 説の最後でなんと言っている？「避ける！」と言っている。そうしたサイトに書き込んでいる方が居るなら、是非よく考えていただきたいと思う。そのサイトで鬱憤を晴らしたいのかもしれない。もしかしたら、会衆で起きたちょっとしたことが気になっていたり、長老の下した決定に疑問を感じたりしたのでしょうか？それでサイトに書き込みをして鬱憤を晴らし、貴方は気分がすっきりする。でもそれを読むたちはどんな気持ちになるか？あなたの書いた否定的なコメントのせいで、誰かが真理から離れたら、ショックではないか？そんなことは望んでいない。それで、どうかお願い。自分の言うことに気をつけてください。こういう人もいるかも。背教者に関するこの警告はあの弱い兄弟には必要だが、自分には関係ない。自分は信仰が強いから大丈夫。それは重量上げをする人が自分は強くて大きいから、毒を一ビン飲んでも害はないと考えるようなもの。私たちは背教者の教えという毒の影響を受けないほど信仰が強い訳でも賢い訳でもない。）

^ (コリニ 11:3) しかし、エバが蛇のする賢さによって惑わされたように、皆さんも何かのことで考え方が腐敗させられて、キリストに示すべき誠実さや貞潔さ(\*清さ)を保てなくなるのではないかと心配しています。

または、「清さ」。